

組織学的知見. 大学院特別セミナー, 東京工業大学, 2004. 2. 10.

- 8) 網塚憲生, 李 敏啓, 小林正敏, 赤羽章司, 原 久仁子, 竹内亀一, 小澤英浩, 秋山康博, 前田健康: 低マグネシウム飼料飼育ラットにおけるビタミンK2の効果 - 組織化学およびEPMA元素分析による解析 - . 東京, 2004. 2. 14.

【その他】

- 1) Maeda, T.: Special issue on The Biology of Tooth Regeneration in Microscopy Research Technique 6Q(5), Guest Editor, 2003.
- 2) 網塚憲生: 骨代謝回転に応じた骨基質の微細構築変化と骨原性細胞の分化. 日本骨粗鬆症学会 平成15年度研究奨励賞, 2003年.
- 3) 網塚憲生: 骨代謝調節因子における形態学的解析. 第3回歯科基礎医学会ライオン学術賞, 2003年.

顎顔面機能学分野

【論文】

- 1) Okayasu, I., Yamada, Y., Kohno, S. and Yoshida, N.: New animal model for studying mastication in oral motor disorders. J. Dent. Res., 82(4): 318-321, 2003.
- 2) Watanabe, U., Shimura, T., Sako, N., Kitagawa, J., Shingai, T., Watanabe, E., Noda, M. and Yamamoto, T.: A comparison of voluntary salt-intake behavior in Nax-gene deficient and wild-type mice with reference to peripheral taste input. Brain Res., 967(1-2): 247-256, 2003.
- 3) Abe, S., Watanabe, Y., Shintani, M., Tazaki, M., Takahashi, M., Yamane, G., Ide, Y., Yamada, Y., Shimono, M. and Ishikawa, T.: Magnetoencephalographic study of the starting point of voluntary swallowing. J. Cranio. Pract., 21(1): 46-49, 2003.
- 4) Ootaki, S., Yamamura, K., Inoue, M., Amarasena, J., Kurose, M. and Yamada, Y.: Activity of peri-oral facial muscles and its coordination with jaw muscles during ingestive behavior in awake rabbits. Brain Res., 1001(1-2): 22-36, 2004.
- 5) 宮嶋晃子, 林 豊彦, 中村康雄, 伊藤 綾, 永田向太郎, 中嶋新一, 小林 博, 山田好秋: 自律顎運動シミュレータJSN/2Bにおける咀嚼力制御のための咬合力センサの改良. 信学技報, MBE2003-2(2003-05): 5-10, 2003.
- 6) 池田利章, 前新直志: 脳血管痴呆症者の叙述能力 談話分析による直接話法と文節数の出現頻度. 明倫

歯科保健技巧学雑誌, 6(1): 13-18, 2003.

- 7) 前新直志: 幼児期における非流暢性と吃音. 明倫歯科保健技巧学雑誌, 6(1): 45-49, 2003.
- 8) 山田好秋: 咀嚼・嚥下に伴う食塊の動態. 日本パイレオロジー学会誌(B&R), 17(3): 120-129, 2003.
- 9) 成田紀之, 山村健介: 咀嚼と嚥下運動の大脳皮質性制御機構に関する最近の知見. 日本咀嚼学会雑誌, 12(2): 3-12, 2003.
- 10) 梶井友佳, 真貝富夫, 高橋義弘, 福島伸一, 田口洋: Wistar fatty ratの味覚応答に対するレプチンの効果. 日本味と匂学会誌, 10(3): 459-462, 2003.
- 11) 福島伸一, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 木島寛, 田口 洋: 新生仔期カプサイシン処置ラットの飲水行動. 日本味と匂学会誌, 10(3): 535-538, 2003.
- 12) 河合崇行, 西塚太一, 梶井友佳, 真貝富夫, 桑迫嵩裕, 平野賢一, 山下静也, 河田照雄, 伏木 亨: 舌上に発現したCD36による油の認識. 日本味と匂学会誌, 10(3): 777-778, 2003.

【著書】

- 1) 山田好秋: CD-ROM 摂食・嚥下のメカニズム 解剖・生理編(井出吉信, 山田好秋 監修), 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 2) 山村千絵: CD-ROM教育支援システム専門学習一般生理学(小椋秀亮 監修), アルプ(株), 東京, 2003.
- 3) 山田好秋: なぜ, おいしく食べられるの(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編). ブックレット新潟大学22 続「食べる」食べるの科学, 4-5, 新潟日報事業社, 新潟, 2003.
- 4) 山村健介: 「食べる」運動の制御の仕組み 複雑で精巧な脳の働き(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編). ブックレット新潟大学22 続「食べる」食べるの科学, 6-13, 新潟日報事業社, 新潟, 2003.
- 5) 山村千絵: おいしく上手に食べるために働く, 口の周りのセンサーの役割(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編). ブックレット新潟大学22 続「食べる」食べるの科学, 16-23, 新潟日報事業社, 新潟, 2003.
- 6) 井上 誠: 味わうことの最終段階 飲み込むことの大切さ(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編). ブックレット新潟大学22 続「食べる」食べるの科学, 24-31, 新潟日報事業社, 新潟, 2003.
- 7) 山村千絵: 顔と脳(新潟大学大学院医歯学総合研究

科ブックレット新潟大学編集委員会編). ブックレット新潟大学25顔から学ぶ, 36-39, 新潟日報事業社, 新潟, 2004.

【商業誌】

- 1) 山田好秋: 緊急インタビューノきょういく 4年制大学のスタート(1)新潟大学歯学部「口腔生命福祉学科」. デンタルハイジーン(250号記念特集これからの歯科衛生士の働き方), 23(11): 1048-1051, 2003.
- 2) 山田好秋: 特別寄稿「歯科衛生士教育いよいよ4年制へ 新潟大学歯学部「口腔生命福祉学科」の取り組み」. 新聞クイント, 9(2): 2, 2003.

【研究成果報告書】

- 1) 山田好秋, 前田健康, 山村健介, 井上 誠, 石川達也, 井出吉信, 阿部伸一, 渡邊 裕: 嚥下障害解明に向けた基礎的研究: 嚥下誘発における上位脳の役割, 文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(A)(2), 課題番号14207077, 2004年.
- 2) 山村健介: 咀嚼・嚥下機能における脳の代償能, 文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究(B), 課題番号14771019, 2004年.
- 3) 井上 誠: 三叉神経運動核周囲核の咀嚼運動時における機能的役割の解明に関する研究, 文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号14571760, 2004年.
- 4) 野田 忠, 山田好秋, 真貝富夫, 田口 洋, 小林博昭: 嚥下障害発生に関する中枢機構・神経支配・味覚の基礎的研究, 文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究(B)(2), 課題番号13470448, 2004年.
- 5) 真貝富夫: ペプタイトの味覚修飾作用に関する生理学的研究, 産学連携等研究, 2004年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 井上 誠: 飼料の物性の違いが咀嚼時の顎舌協調運動に与える影響. 日本顎口腔機能学会第30回学術大会, 岡山, 2003年4月19日.
- 2) 山田好秋: 咀嚼・嚥下に伴う食塊の動態 レントゲンビデオによる観察結果. シンポジウム「食物の咀嚼・嚥下におけるレオロジー」第26回日本バイオレオロジー学会年会, 大阪, 2003年6月5日.
- 3) 真貝富夫: 味覚研究の現況 まだまだ分からない味のからくり. 助講会主催講演会, 新潟, 2003年7月24日.
- 4) 山田好秋: 嚥下の神経生理学. 第9回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会教育講演, 福岡, 2003年9月6日.

- 5) 山田好秋: 咀嚼と嚥下. シンポジウム「健康増進, QOL向上のための咀嚼に関する研究戦略 咀嚼研究に関する分野別レビューと学際的研究への展望」, 第14回日本咀嚼学会学術大会, 徳島, 2003年9月12日.
- 6) 山村健介: 「老化とは」. 平成15年度新潟大学歯学部新発田市生涯学習センター連携公開講座「お年寄り・寝たきり者の口の健康 おいしく食べて・楽しく話すために」, 新発田, 2003年9月26日.
- 7) 真貝富夫: 嚥下反射の神経機構. 静岡工業技術センター講演会, 静岡, 2003年12月11-12日.
- 8) 真貝富夫: 舌の味・喉ごしの味. 新潟大学地域連携フードサイエンス・センター シリーズ講演会第1回「食品のおいしさを探る: 官能評価と生理的評価」, 新潟, 2004年3月10日.
- 9) 山田好秋: 高齢者歯科の現状と課題. 社団法人厚木歯科医師会講演会, 厚木, 2004年3月13日.

【学会発表】

- 1) Kurose, M., Yamamura, K., Inoue, M., Noguchi, M., Ariyasinghe, S. and Yamada, Y.: Differential modulation of jaw-reflexes produced by the experimental muscle pain. The 23rd meeting of the Store Kro Club, The Society of Oral Physiology, Leuven (Belgium) May 15-18, 2003.
- 2) Inoue, M., Harasawa, Y., Ariyasinghe, S., Yamamura, K. and Yamada, Y.: Effects of food texture on extrinsic tongue muscle activity during mastication in the rabbit. The 81st General Session of the International Association for Dental Research, Göteborg (Sweden) June 25-28, 2003. J. Dent. Res., 82 (Spec Iss): B-296, 2003.
- 3) Okayasu, I., Yamada, Y., Yoshida, N., Koga, Y., Maeda, T. and Oi, K.: Brain-derived neurotrophic factor changes masticatory jaw movements and muscle activities. The 81st General Session of the International Association for Dental Research, Göteborg (Sweden) June 25-28, 2003. J. Dent. Res., 82 (Spec Iss): B-296, 2003.
- 4) Yamamura, K., Kurose, M., Inoue, M. and Yamada, Y.: Modulation of orofacial sensory inputs to the face primary somatosensory cortex during mastication. Society for neuroscience 33rd annual meeting, New Orleans (USA) November 8, 2003.
- 5) 梶井友佳, 真貝富夫, 高橋義弘, 福島伸一, 田口洋, 山田好秋: 肥満ラットの味覚応答に対するレプチンの作用. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Effect of leptin on taste responses in

- fatty and lean rats. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S233, 2003.
- 6) 黒瀬雅之, 山村健介, 野口真紀子, Ariyasinghe Sajjiv, 平野秀利, 井上 誠, 山田好秋: 閉口筋に与えた痛み刺激が顎反射に及ぼす影響. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Modulation of jaw reflexes induced by experimental muscle pain. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S240, 2003.
- 7) 山村健介, 黒瀬雅之, 井上 誠, 平野秀利, 山田好秋: 覚醒ウサギ大脳皮質顔面感覚野における感覚情報伝達の咀嚼時モデュレーション. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Modulation of sensory transmission to the face primary somatosensory cortex during mastication in awake rabbits. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S241, 2003.
- 8) 井上 誠, 原澤陽二, Ariyasinghe Sajjiv, 山村健介, 山田好秋: 自由行動下のウサギにおける自然咀嚼時の顎筋・舌筋・舌骨上筋協調活動. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Coordination of jaw, tongue and suprahyoid muscle activities during mastication in the freely behaving rabbits. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S252, 2003.
- 9) 原澤陽二, 井上 誠, Ariyasinghe Sajjiv, 山村健介, 平野秀利, 山田好秋: 自由行動下のウサギにおける睡眠時舌筋反射活動の変調. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Changes in tongue reflex responses during sleep in freely behaving rabbits. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S255, 2003.
- 10) 増田裕次, 山村健介, 田村泰久, 姜 英男, 山田好秋, 森本俊文, James Hu: ウサギ咬筋へのグルタミン酸注入のリズミカルな顎運動におよぼす影響. 第80回日本生理学会大会, 福岡, 2003年3月25日, Influence of glutamate injection to masseter muscle on rhythmical jaw movements in rabbits. *Jpn. J. Physiol.*, 53 (Suppl): S255, 2003.
- 11) 前田健康, 魚島勝美, 興地隆史, 小野和宏, 高木律男, 花田晃治, 山田好秋: 大学学習法としてのスタディスキルズ. 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎, 2003年7月11-12日, 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 33頁, 2003年.
- 12) 興地隆史, 福島正義, 葭原明弘, 田井秀明, 高田佳之, 小野和宏, 小林 博, 魚島勝美, 富沢美恵子, 高木律男, 前田健康, 山田好秋, 花田晃治: 新潟大学歯学部卒前教育へのOSCEの導入(第2報) コミュニケーション能力の評価. 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎, 2003年7月11-12日, 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 41頁, 2003年.
- 13) 小野和宏, 前田健康, 花田晃治, 山田好秋, 高木律男, 興地隆史, 魚島勝美, 葭原明弘, 永田昌毅, 安島久雄: 歯学教育プログラムへのPBL教育の導入 南カリフォルニア大学歯学部における実態調査. 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎, 2003年7月11-12日, 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 52頁, 2003年.
- 14) 相田 恵, 前田健康, 魚島勝美, 興地隆史, 小野和宏, 高木律男, 花田晃治, 山田好秋: 大学院学生を対象としたProfessional Writingの開講. 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎, 2003年7月11-12日, 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 52頁, 2003年.
- 15) 魚島勝美, 俣木志朗, 小野和宏, 花田晃治, 前田健康, 山田好秋: イギリスの歯科医学教育事情. 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会, 長崎, 2003年7月11-12日, 第22回歯科医学教育学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 56頁, 2003年.
- 16) 黒瀬雅之, 山村健介, 井上 誠, 野口真紀子, Ariyasinghe Sajjiv, 山田好秋: 実験的筋への痛み刺激が顎反射に及ぼす影響. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2003年7月12日, 新潟歯学会誌, 33(2): 119-120頁, 2003年.
- 17) 前新直志, 山田好秋, 寺尾恵美子: 発話刺激の変化に対する幼児発話応答時間. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2003年7月12日, 新潟歯学会誌, 33(2): 120頁, 2003年.
- 18) Ariyasinghe Sajjiv, 井上 誠, 原澤陽二, 山村健介, 黒瀬雅之, 山田好秋: Effects of sensory inputs on the extrinsic tongue muscle activity during cortically evoked rhythmic jaw movements. 平成15年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2003年7月12日, 新潟歯学会誌, 33(2): 120-121頁, 2003年.
- 19) 中村優也, 高品朋江, 井上 誠, 山田好秋, 杉村忠敬: 家兎咀嚼筋の活動パターンと協調性について. 第11回顎顔面バイオメカニクス学会大会, 新潟, 2003年9月6日.
- 20) 山村健介, 黒瀬雅之, 井上 誠, 平野秀利, 山田好秋: 口腔からの感覚情報伝達機構の咀嚼時変調様式 大脳皮質感覚野誘発応答と反射の比較. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 141頁, 2003年.
- 21) 中村優也, 高品朋江, 井上 誠, 山田好秋, 杉村忠敬: 家兎咀嚼筋活動と顎運動との関係. 第45回歯科

- 基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 146頁, 2003年.
- 22) 黒瀬雅之, 山村健介, 井上 誠, 野口真紀子, Ariyasinghe Sajjiv, 山田好秋: 実験的筋への痛み刺激が異なる感覚により誘発される顎反射に及ぼす影響. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 146頁, 2003年.
- 23) 井上 誠, Ariyasinghe Sajjiv, 原澤陽二, 山村健介, 山田好秋: 顎口腔顔面運動に関わる運動ニューロンのプレモーターニューロンの局在. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 147頁, 2003年.
- 24) 木島 寛, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 福島伸一, 田口 洋, 山田好秋: 一酸化窒素(NO)は舌咽神経咽頭枝による反射性嚥下誘発に関与する. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 147頁, 2003年.
- 25) 福島伸一, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 木島寛, 田口 洋, 山田好秋: 新生仔ラットへのカプサイシン投与が飲水行動に及ぼす影響. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 149頁, 2003年.
- 26) 原澤陽二, 井上 誠, Ariyasinghe Sajjiv, 山村健介, 平野秀利, 山田好秋: 自由行動下のウサギにおける睡眠時舌筋反射活動の変調. 第45回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5): 149頁, 2003年.
- 27) 梶井友佳, 真貝富夫, 高橋義弘, 福島伸一, 田口洋: Wistar fatty rat舌咽神経咽頭枝の味覚応答に対するレプチンの効果. 日本味と匂学会第37回大会, 岡山, 2003年9月25日, 日本味と匂学会第37回大会プログラム・予稿集: 69頁, 2003年.
- 28) 福島伸一, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 木島寛, 田口 洋: カプサイシン処置ラットの飲水行動. 日本味と匂学会第37回大会, 岡山, 2003年9月25日, 日本味と匂学会第37回大会プログラム・予稿集: 81頁, 2003年.
- 29) 河合崇行, 西塚太一, 梶井友佳, 真貝富夫, 桑迫嵩裕, 平野賢一, 山下静也, 河田照雄, 伏木 亨: 舌上に発現したCD36による油の認識. 日本味と匂学会第37回大会, 岡山, 2003年9月26日, 日本味と匂学会第37回大会プログラム・予稿集: 121頁, 2003年.
- 30) 山田好秋, 川原祐三, 斎藤米蔵, 平野秀利: 姿勢記録装置の試作. 日本顎口腔機能学会第31回学術大会, 札幌, 2003年10月4日, プログラム・事前抄録集: 24-25頁, 2003年.
- 31) 山田正彦, 古賀義之, 岡安一郎, 大井久美子, 山田好秋, 吉田教明: 飼料の液状化が顎口腔機能獲得に及ぼす影響. マウスを用いた機能分析. 日本顎口腔機能学会第31回学術大会, 札幌, 2003年10月4日, プログラム・事前抄録集: 26-27頁, 2003年.
- 32) 渡辺しき子, 平野秀利, 山田好秋: 腹臥位への体位変換が脳活動に及ぼす影響. 脳波の周波数解析による検討. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2003年11月8日, 新潟歯学会誌, 33(2): 133頁, 2003年.
- 33) 三嶋理穂, 工藤卓奥, 恒次祐子, 宮崎良文, 山村千絵, 山田好秋: 歯科用タービン音ならびにせせらぎ音刺激が脳血流動態と血圧に及ぼす影響. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2003年11月8日, 新潟歯学会誌, 33(2): 133-134頁, 2003年.
- 34) 川原祐三, 山田好秋: 日常生活動作における頭位・体幹姿勢記録. 平成15年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2003年11月8日, 新潟歯学会誌, 33(2): 134頁, 2003年.
- 35) 前新直志, 山田好秋: 成人の発話刺激に対する幼児の発話反応時間. 第4回日本言語聴覚士協会総会学術集会発表抄録集, 37頁, 2003年.
- 36) 池田利章, 前新直志, 熊木克治: 言語聴覚学科の解剖学実習見学に関する調査. 第4回日本言語聴覚士協会学術集会発表抄録集, 83頁, 2003年.
- 37) 前新直志: 健常幼児の発話反応時間. 第41回日本特殊教育学会発表論文集, 595頁, 2003年.
- 38) 渡邊正基, 前新直志, 磯野信策: 会話より音読での吃音が顕著な学童女兒の指導. 第41回日本特殊教育学会発表論文集, 240頁, 2003年.
- 39) 前新直志, 山田好秋: 健常幼児における発話応答時間と発話速度の関係. 第48回日本音声言語医学会発表抄録集, 86頁, 2003年.
- 40) 前新直志, 山崎和子, 小林宏明: 幼児の発話に対する養育者の聴覚判定. 第2回明倫短期大学学会発表抄録集, 11頁, 2003年.

【研究会発表】

- 1) 黒瀬雅之, 山村健介, 井上 誠, 野口真紀子, Ariyasinghe Sajjiv, 山田好秋: 実験的筋痛が顎反射に及ぼす影響. 第4回口腔顔面痛懇談会, 東京, 2003年6月1日.
- 2) 山田好秋: 平成15年度先端技術開発研究会(第4回食品科学研究会), 新潟, 2003年8月22日.
- 3) 山田好秋: 「嚥下機能の加齢変化と高齢者向け食

品」,平成15年度食品研究センター産学官技術交流会,加茂,2003年10月23日。

- 4) 前新直志: 幼児期の吃音早期発見と改善にむけて。第37回全国言友会連絡協議会・にいがた言友会,吃音ワークショップ in にいがた。分科会企画,新潟,2003年11月2日。

【その他】

- 1) 真貝富夫: 塩気で回復する「のどごしのうまさ」。朝日新聞科学・医療欄,2003年5月12日。
- 2) 真貝富夫: 究極にうまいビールが飲みたい。ABC朝日放送「おはよう朝日です」,2003年6月3日。
- 3) 井上 誠: 最近のトピックス。新潟歯学会雑誌,33(1): 57-58,2003。
- 4) 山田好秋: 新潟大学テレビ公開講座 エイジング(加齢)とは~加齢による心と体の変容に積極的に向き合うため~ BSN新潟放送 第4回 第1部「エイジングと私」 食べる・飲み込む体のしくみ 2003年11月22日。
- 5) 山田好秋: 巻頭言 咀嚼学会の役割。日本咀嚼学会雑誌,13(2): 47-48,2003。

硬組織病態生化学

【学会誌】

- 1) Ishida Y, Komaru K, Ito M, Amaya Y, Kohno S, Oda K.: Tissue-nonspecific alkaline phosphatase with an Asp289-Val mutation fails to reach the cell surface and undergoes proteasome-mediated degradation. *J. Biochem*, 134 : 63-70, 2003.
- 2) Nakano Y, Kawamoto T, Oda K, Takano Y.: Alkaline and acid phosphatases in bone cells serve as phosphohydrolases at physiological pH in vivo : a histochemical implication. *Connective Tissue Research*, 44 (Suppl.1): 219-222, 2003.
- 3) Ito M, Izumi N, Cheng J, Sakai H, Shingaki S, Nakajima T, Oda K, Saku T.: Jaw bone remodeling at the invasion front of gingival squamous cell carcinomas. *J. Oral Pathol. Med.*, 32 : 10-17, 2003.
- 4) Hao H, Amizuka N, Oda K, Fujii N, Ohnishi H, Okada A, Nomura S, Maeda T.: A histological evaluation on self-setting tricalcium phosphate applied in the rat bone cavity. *Biomaterials*, 25 : 431-442, 2004.
- 5) Kawai M, Bessho K, Unabara S, Sonobe J, Oda K, Amizuka T, Maruyama H.: Ectopic bone formation by human bone morphogenetic protein-2 gene transfer to skeletal muscle using transcutaneous electroporation. *Human Gene Therapy*. 14 : 1547-1556, 2003.
- 6) Amizuka N, Shimomura J, Li M, Seki S, Oda K, Henderson J.E, Mizuno A, Ozawa H, and Maeda T.: Defective Bone Remodeling in Osteoprotegerin Deficient Mice. *J. Electron Micro.* 52 : 503-513, 2003.
- 7) Takahashi T, Mizuno T, Ido T, Iwata R, Watanabe K: Improved synthesis of Pure [¹⁸H]fluorocompounds for PET studies from bromocompounds. *Applied Radiation and Isotopes*. 58 : 557-566, 2003.

【商業誌】

- 1) 石田陽子, 小丸圭一, 織田公光 アルカリホスファターゼの構造と機能. *臨床化学*, 33(1): 36-44, 2004.

【学会発表】

- 1) Amaya Y, Miura S, Nakai T, Oda K. Regulation of localization of parathyroid hormone-related protein at the ER membrane. 第76回日本生化学会大会, 横浜, 2003年10月17日, 生化学, 75(8), 953頁.
- 2) Komaru K, Ishida Y, Kohno S, Goseki-Sone M, Orimo H, Amaya Y, Oda K. Biosynthesis and degradation of a mutant tissue-nonspecific alkaline phosphatase caused by a deletion of T at nucleotide 1559. 第76回日本生化学会大会, 横浜, 2003年10月17日, 生化学, 75(8), 962頁.
- 3) 石田陽子, 河野正司, 小丸圭一, 伊藤将広, 天谷吉宏, 織田公光: 突然変異型アルカリホスファターゼ D289Vは細胞表面に到達されずユビキチン/プロテアソーム系で分解される. 第45回歯科基礎医学会, 盛岡, 2003年9月19日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5), 375頁.
- 4) 李 敏啓, 網塚憲生, 織田公光, 河野芳朗, 竹内亀一, 高木律男, 前田健康: 肺癌骨転移モデルマウスにおける破骨細胞と細胞外基質の組織化学的知見. 第45回歯科基礎医学会, 盛岡, 2003年9月18日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5), 266, 2003.
- 5) 鈴木啓展, 網塚憲生, 織田公光, 野田政樹, 吉江弘正, 前田健康: Klothoマウス下顎切歯における組織学的異常について. 第45回歯科基礎医学会, 盛岡, 2003年9月18日, 歯科基礎医学会雑誌, 45(5), 270, 2003.
- 6) HOSSAIN ZAZI SAZZAD, 池田順行, 井上佳世子, 網塚憲生, 織田公光, 高木律男, 前田健康 マウス下顎頭軟骨の経時的組織変化について. 第45回歯科